

平成 30 年 6 月 5 日現在

機関番号：82610

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26463578

研究課題名(和文) 組織変容を伴う保健師人材育成モデルの開発

研究課題名(英文) Development of public health nurse education model with organization transformation

研究代表者

嶋津 多恵子 (Shimazu, Taeko)

国立研究開発法人国立国際医療研究センター・その他部局等・教授

研究者番号：80184521

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：行政におけるプリセプター保健師の経験学習と先行要因および帰結との関連を明らかにすることを目的とした。平成24年度以降にプリセプターの経験をもつ保健師を対象に、86自治体へ質問紙を868通配布し有効回答数379(43.7%)であった。プリセプター保健師経験学習尺度は、信頼性・妥当性が検証された。共分散構造分析にて、プリセプター保健師経験学習プロセスおよび先行要因・帰結モデルを構築した。キャリア、プリセプター研修、人材育成環境等が関連していた。帰結として保健師の専門性発展力および組織を背負う意識に寄与することが明らかとなり、保健師のキャリア発達としてのプリセプター経験の意義が示唆された。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to identify Kolb's experiential learning when precepting PHN, and to reveal the relationships among the antecedents, and the outcome. A nation-wide survey was conducted for PHNs who precepted novice PHNs in administrations from 2012 to 2015. Of the 868 questionnaires mailed to 86 administrations 438 (59.4%) were returned with 379 (43.7%) usable responses. PHN Precepting Experiential Learning Scale(PHN-PELS) has 20 items forming four sub-scales, with confirmed validity and reliability. PHN-PEL among antecedents and outcome model was analyzed using SEM. Related factors were: career length as PHN; recognition of own experience fostered by the organization; age of novice PHN; preceptor training program, and career development environment in the organization. PHN-PEL contributes to understanding professional development for PHN with responsibility for the organization by revealing the value of preceptors' own learning to their career development.

研究分野：公衆衛生看護学

キーワード：public health nurse preceptorship novice PHN organization career development experiential learning

1. 研究開始当初の背景

国では系統的な保健師現任教育について継続的に検討されてきた。その一環として、新任期保健師育成のためのプリセプターシップの重要性も示されている。

プリセプターがその役割を果たすためには、プリセプター研修等、能力向上を目指すための支援が必要である。

「新人看護職員研修ガイドライン(保健師編)」が示され、プリセプターシップの導入や人材育成体制の構築も進められつつある。

しかし、保健師のプリセプター経験を通じた学習を評価する尺度はみられない。

そこで、本研究では、実践知を導く経験学習に着目し、行政におけるプリセプター保健師の経験学習を測定する尺度の開発、およびプリセプター保健師の経験学習が先行要因や帰結とどのように相互に関連し合っているのか明らかにすることとした。

2. 研究の目的

本研究は、行政におけるプリセプター保健師の経験学習尺度を開発し、先行要因および帰結との関連を明らかにすることを目的とした。このことにより、プリセプターの支援、人材育成体制、新任保健師育成に向けた組織の人材育成環境について、整備すべき要因や優先度について提言できると考えた。

3. 研究の方法

(1) 尺度案の作成

先行研究である質的研究および文献検討と、経験学習理論を理論前提として、「行政におけるプリセプター保健師の経験学習尺度(PHN-PELS)」(下位尺度 ~)を自作した。

経験学習について Kolb¹⁾は、経験に基づく継続的で holistic なプロセスであり個人と環境の相互作用としている。プリセプター保健師の経験学習を、プリセプター保健師と新任保健師との相互作用による<新任保健師育成の役割遂行>と<保健師としての自己研鑽>、組織との相互作用による<新任保健師育成の共有>と<人材育成環境の改善>と捉えた。

よって下位尺度は、<新任保健師育成の役割遂行>、<保健師としての自己研鑽>、<新任保健師育成の共有>、<人材育成環境の改善>の4つとした。

(2) パイロットスタディ

作成した尺度について、行政保健師を対象とした質問紙調査を実施し、妥当性の検討、質問項目の精選を行った(配布数 96、回収数 57、回収率 59.4%、有効回答数 52、有効回答率 54.2%)。聖路加国際大学倫理審査委員会の承認(承認番号:15-029)を得て実施した。

(3) 本調査

本調査では、全国の自治体に所属し平成 24~27 年度にプリセプターの経験をもつ保健

師を対象として、自記式質問紙調査を実施した。質問内容は、PHN-PELS 76 項目、先行要因として対象属性、指導した新任保健師の属性、所属組織の属性等、帰結として保健師の専門性発展力²⁾、組織を背負う意識³⁾を尋ねた。

聖路加国際大学倫理審査委員会の承認(承認番号:15-070)を得て実施した。

(3) データ収集方法

研究協力の事前調査の回答に基づき、各自治体の保健師代表者に対象者数分の質問紙、対象者宛研究依頼文、返信用封筒を1名分ずつセットにして送付し、対象者への配布を依頼した。対象者は自由意思により質問紙に回答し、各自無記名で返信用封筒を用いて返信した。

(4) 分析方法

PHN-PELS について確証的因子分析により項目を精選し、信頼性・妥当性を検証し、尺度を開発した。

さらに開発した尺度を用いて、プリセプター保健師経験学習と先行要因および帰結の関連について、共分散構造分析を用いて仮説モデルを検証し、モデル構築を行った。

4. 研究成果

全国 86 自治体へ質問紙を 868 通配布し、回収数 438(50.5%)、有効回答数 379(43.7%)であった。

PHN-PELS($\alpha = .879$)計 20 項目の4つの下位尺度($\alpha = .758; .800; .708; .776$)は、信頼性・妥当性が検証された。

下位尺度について共分散構造分析を行い、プリセプター保健師経験学習プロセスを構築した。<新任保健師育成の役割遂行>から<保健師としての自己研鑽>へ($\beta = .73, p < .001$)、<新任保健師育成の役割遂行>から<新任保健師育成の共有>へ($\beta = .63, p < .001$)、さらに<人材育成環境の改善>へ($\beta = .74, p < .001$)の有意な関連が認められた。

さらに先行要因および帰結を統合したプリセプター保健師経験学習と先行要因および帰結との関連の最終モデルを構築した。<新任保健師育成の役割遂行>および<保健師としての自己研鑽>は<保健師の専門性発展力>に影響($\beta = .31, p < .001; \beta = .30, p < .001$)し、<人材育成環境の改善>は<組織を背負う意識>に関連($\beta = .31, p < .001$)していた。キャリア、組織で育成された経験の認識、新任保健師の年齢、プリセプター研修、人材育成環境がプリセプター保健師経験学習と帰結に関連していた。

結論:

本研究で開発した PHN-PELS は、保健師のプリセプター経験における実践知を導く能力の評価として経験学習(Kolb)を測定しており、信頼性・妥当性が検証された。本尺度は、プリセプター教育の評価に活用可能と考

える。

さらに帰結として保健師の専門性発展力および組織を背負う意識に寄与することが明らかとなり、保健師のキャリア発達としてのプリセプター経験の意義が示唆された。プリセプター研修等の関連要因はプリセプター教育および人材育成環境整備の参考となると考える。

表 行政におけるプリセプター保健師経験学習尺度(PHN-PELS)($\alpha = .879$)

構成概念	項目番号	項目
下位尺度 新任保健師育成の役割遂行 (6項目) $\alpha = .758$	1	新人がどのようなことに困るか考えて育てる
	2	新人が研修等で学んだことを把握して新人に関わる
	3	保健師活動は何を目的に実施するのか言葉にして新人に伝える
	4	保健師活動の根拠となる住民の声や統計データを新人に伝える
	5	住民と関わる保健師活動の魅力が新人に伝える
	6	他機関からの様々な情報を住民支援に役立てる方法を新人に伝える
下位尺度 保健師としての自己研鑽 (6項目) $\alpha = .800$	7	新人の仕事に生かされた保健師として大切なことを自分なりに意味づける
	8	保健師活動は何を目的に実施するのか考える
	9	保健師活動の根拠となる文献や先行事例を自分が把握する
	10	住民と関わる地域づくりの重要性を自分が認識する
	11	申請手続きからも支援が必要な住民を見出す重要性を自分が認識する
	12	住民の価値観を尊重し共に考えていくことの重要性を自分が認識する
下位尺度 新任保健師育成の共有 (4項目) $\alpha = .708$	13	スタッフに対して新人育成のサポートをこまめに求める
	14	様々な立場の保健師から新人へ適切に助言してもらう
	15	新人が相談することについて日常的にスタッフから意見を出し合ってもらう
	16	上司から保健師活動に関わる考え方を聞く
下位尺度 人材育成環境の改善 (4項目) $\alpha = .776$	17	新人育成を通してスタッフ全体を育てる考え方を組織で共有する
	18	プリセプターによって新人育成に差が生じないように組織のメンバーへ働きかける
	19	新人育成で培った保健師の人材育成体制を継続できるよう組織のメンバーへ働きかける
	20	組織の業務改善のためにチームで取り組むよう働きかける

注) 経験学習サイクルを参考に、能動的実践「~しようとした」について、リッカートスケール5件法「とても当てはまる」~「全く当てはまらない」でたずねた。

文献:

- 1) Kolb, D.A. (1984). *Experiential learning: experience as the source of learning and development*, Englewood Cliffs: New Jersey.
- 2) 岡本玲子, 岩本里織, 塩見美抄, 他 (2010). 保健師の専門性発展力尺度の開発と信頼性・妥当性の検証. *日本公衆衛生雑誌*, 57 (5), 355-365.
- 3) 鈴木竜太 (2007). 大卒ホワイトカラーにおける組織を背負う意識に関する実証研究, *国民経済雑誌*, 197 (3), 57-73.

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2 件)

- (1) Taeko Shimazu. The Development of a Public Health Nurses Precepting Experiential Learning Scale. *Japanese Journal of Public Health*, 65(8), in Press.
- (2) 嶋津多恵子. 保健所設置自治体におけるプリセプター保健師の現状と支援体制: 全国実態調査. *日本公衆衛生看護学会誌* 6(3), 258-267.

[学会発表](計 5 件)

国際学会

- (1) 1. Shimazu T. Development of the PHN preceptor experiential learning scale: two subscales to measure experiential learning while fostering novice PHN. The 3rd Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing. Busan, Korea, September, 2016.
- (2) Shimazu T. Relationship among PHN active experimentation as preceptor and the outcome: Structural Equation Modeling. APHA (American Public Health Association) 2017 Annual Meeting & Expo. Atlanta, USA, November, 2017.

国内学会

- (1) 嶋津多恵子. 行政におけるプリセプター保健師の経験学習尺度の開発「組織メンバーと新人を育てる経験学習尺度」および「組織の人材育成環境を整える経験学習尺度」の信頼性・妥当性の検討. *日本地域看護学会* 第 19 回学術集会, 栃木, 8 月, 2016.
- (2) 嶋津多恵子. 行政におけるプリセプター保健師の現状と支援体制: 全国実態調査. *日本地域看護学会* 第 20 回学術集会, 大分, 8 月, 2017.
- (3) 嶋津多恵子. プリセプター保健師の能動的実践と帰結との関連~自治体種別の多母集団分析~. 第 6 回 *日本公衆衛生看護学*

会学術集会. 大阪, 1月, 2018.

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

嶋津多恵子 (SHIMAZU, TAEKO)
国立看護大学校・看護学研究科・教授
研究者番号：80184521

(2) 連携研究者

麻原きよみ (ASAHARA, KIYOMI)
聖路加国際大学・看護学部・教授
研究者番号：80240795

(3) 連携研究者

蔭山正子 (KAGEYAMA, MASAKO)
大阪大学・医学系研究科・准教授
研究者番号：80646464